

保健体育	1年	前期	後期	実技1単位	担当教員名	齋藤 寧
	卒必	幼必	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 運動することの壮快感を味わい、日常化の大切さを理解すると共に生涯体育について考える ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・運動への積極的な取り組みやグループ活動を通して、運動への関心を高めると共に社会性を養う ・幼児教育の理解を深める補助的な役目を果たす 						
授業の概要 保育科で学ぶ学生にとっては社会に出る前に経験する学校体育の最後の機会である。運動に積極的に取り組み、運動の楽しさを味わい、運動が心身に与える働きの大切さを再確認する機会としたい。また、グループ活動やリーダーとしての体験を通して、保育士として活動する場合の心構え等について考えさせる。						

授業計画

コマ(回)	項目	内 容
1	オリエンテーション	目標 実施種目 評価方法等 集団行動 補強運動等
2	集団行動 ラジオ体操	集団行動、体力づくり(補強運動・幼児体育 等)
3	体力づくり	ラジオ体操第一、補強運動等 (いろいろな動きから)
4	リズムダンス	リズムダンス (ステップ、「おにのパンツ」 等)
5	バレーボール	班編成
6		基本技能 (パス、レシーブ、サーブ、スパイク 等)
7		ルールを工夫しての簡易ゲーム
8		
9		
10		
11	テニス、バドミントン (卓球)	班編成
12		基本技能 (フォア、バック、サーブ 等)
13		ルールを工夫しての簡易ゲーム
14		
15		
16	バスケットボール	班編成
17		基本技能 (ドリブル、パス、シュート、攻防 等)
18		ルールを工夫しての簡易ゲーム
19		
20		
21	フットサル	基本技能 (パス、ドリブル、シュート 等)
22		ルールを工夫しての簡易ゲーム
定期試験	なし	
テキスト	なし	
参考図書	「幼児のためのコーディネーション運動」 (明治図書)、「幼児体育指導教範」 (社・人 幼少年体育振興協会)	
教員の 評価方法	実技発表 (70%)、学習意欲・態度 (30%)を総合して評価	
準備学習等 履修上の留意点	積極的に他とかかわりながら運動しようとする。	